

言葉のはたらき

年

組

番

名前

◇ 次のお話を読んで、あとの問題に答えましょう。

きのうの朝のことです。道子さんは、学校に行こうとしたくをしていました。いつもより少し起きるのがおそくなってしまい、急いでいました。天気はくもり。でも、雨はふりそうにありません。なのに、おかあさんが、

「道子、かさを持って行きなさい。」

と声をかけてきました。げんかんには、ながぐつもならべられています。

「今日は、体育があるから、運動ぐつで行くの。雨なんかふらないよ。」

「かさは持っていきなさいよ。」

「もう、うるさいな。かさもいらぬ。急いでるから。いってきます。」

「道子！ほら、かさ。」

おかあさんが追いかけてくるのが見えましたが、道子は全速力で走って学校へ向かいました。一度だけふり向くと、遠くで、かさを持ったまま立っているおかあさんが手をふっています。でも、道子は、

「うるさいな。大丈夫だ。」

と、小さな声でつぶやきながら、走り続けました。

二時間目になって、雨がふり出しました。三時間目の体育は中止。次第に雨は強くなり、下校のころにも止みそうにありません。道子は、（おかあさんの言うことを聞いておけばよかったな。）と、心の中で思いましたが、（ぬれて帰ればいいや。）と思ひ直しました。運動ぐつにはきかえようと思ったそのとき、道子のかさがくつばこにかかっているのを見つけました。（おかあさんが、持ってきてくれたんだ。）と思ひましたが、朝の自分の行動を考えると、素直にかさをさして帰るわけにはいきません。

けつきよく、道子のかさを持たずに、家までぬれて帰りました。それを見たおかあさんは、悲しそうな顔をしただけで、何も言いませんでした。道子は、悪かったなと思ひましたが、「ごめんなさい」が言えません。「ありがとう」の気持ちも伝えたいと思ひますが、言葉にすることができません。

夜になって、道子は、（おかあさんに手紙を書こう。朝の自分の態度をあやまり、かさを持ってきてくれたことにお礼を言おう。）と思ひ、さっそくびんせんにむかいました。

一、朝、道子さんがおかあさんに言った言葉で、よくない会話を書きぬき
ましょう。

「

」

二、雨にぬれて家に帰ったとき、おかあさんは何も言いませんでしたが、
心の中ではどんなことを思っていたと思いますか。おかあさんの様子から、
考えましょう。

三、道子さんは、お母さんに、なぜ手紙を書こうと思ったのでしょうか。

手紙にすると、

から。

四、道子さんになったつもりで、おかあさんに手紙を書きましょう。

道子より

言葉のはたらき（答え）

一、「もう、うるさいな。かさもいらぬ。急いでるから。いってきます。」

解説

「うるさいな。大丈夫だつて。」は、おかあさんにむかって言ったのではなく、つぶやいたので、ひとり言です。

二、（解答例）

「雨にぬれないようにと、せっかくかさを持っていてあげたのに、道子ったら、かさをささずに帰ってきたのね。」

三、（解答例）

手紙にすると、はずかしくて、口に出して言えないことでも、ちゃんと伝えることができるから。

四、（解答例）

おかあさん、今日の朝は、ごめんなさい。おかあさんが私のためを思つて「かさを持っていきなさい。」と言つたのに、「うるさいな。」なんて言つてしまいました。帰りに雨がふつてきて、こまっていたら、おかあさんがかさをもつてきてくれたことに気づきました。それなのに、かさをささずに帰りました。すなおにかさをささずに帰ってきて、おかあさんの顔を見たら、悪かつたなと思ひました。ごめんなさい。それから、言えなかつた言葉があります。かさを持ってきてくれて、ありがとうございました。

解説

（おかあさんに手紙を書こう。朝の自分の態度をあやまり、かさを持ってきてくれたことにお礼を言おう。）とあるので、謝罪の言葉（ごめんなさい）と感謝の言葉（ありがとう）が入るようにならう。